仕　様　書

1　業務名

令和７年度「防ごう！少年非行」県民総ぐるみ運動に係る委託業務

2　業務内容

推進大会の企画・運営

・推進大会

ア　日　　時　　令和７年８月１日（金）午後を予定

イ　場　　所　　とくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター）大会議室

ウ　参加人数　　１００人（予定）

・実施内容

①　講演会講師及び司会者の手配その他必要な事項

②　看板等会場設営（準備物の手配、撤収作業も含む）

③　推進大会のオンライン配信（質疑応答の対応を含む）

④　チラシ等の作成・配布（関係機関等への配布を含む）

チラシ　　１０００部

ポスター　　６０部

プログラム　　１５０部

補足事項

・「総ぐるみ運動推進大会」スケジュール（案）は別紙のとおり計画している。

・推進大会（表彰式を含む）の様子をインターネット上で配信すること。使用媒体は各社に一任する。

・講師へのアポイントは各社に一任する。

・昨今増加傾向にあるデジタル技術を使った犯罪において、青少年が被害者にも加害者にもならないような対策等について見識のある講師を招聘すること。

・会場設営については、会場内看板・ステージを用意し、最後の撤去まで行うこと。
（会場のイメージ等については、別紙のとおり。）

・推進大会会場（とくぎんトモニプラザ）に属する備品以外の準備物について手配すること。
なお、会場（付属備品含む）は県において確保する。

・表彰式の受賞者（最大 20 台）、講演会講師及び来賓等（４台程度）の駐車料金は委託料から支出し、必要に応じた時間分の駐車場サービス券を準備すること。
ただし一般参加者の駐車料金の負担は不要。

・業務実施に当たり生じた疑義については、その都度協議の上、決定する。

＜別　紙＞

総ぐるみ運動推進大会スケジュール（案）

１３：３０　　開会

・知事挨拶
・来賓、主催者紹介

表彰

・善行青少年団体・青少年健全育成功労者知事表彰

・来賓祝辞
・祝電披露

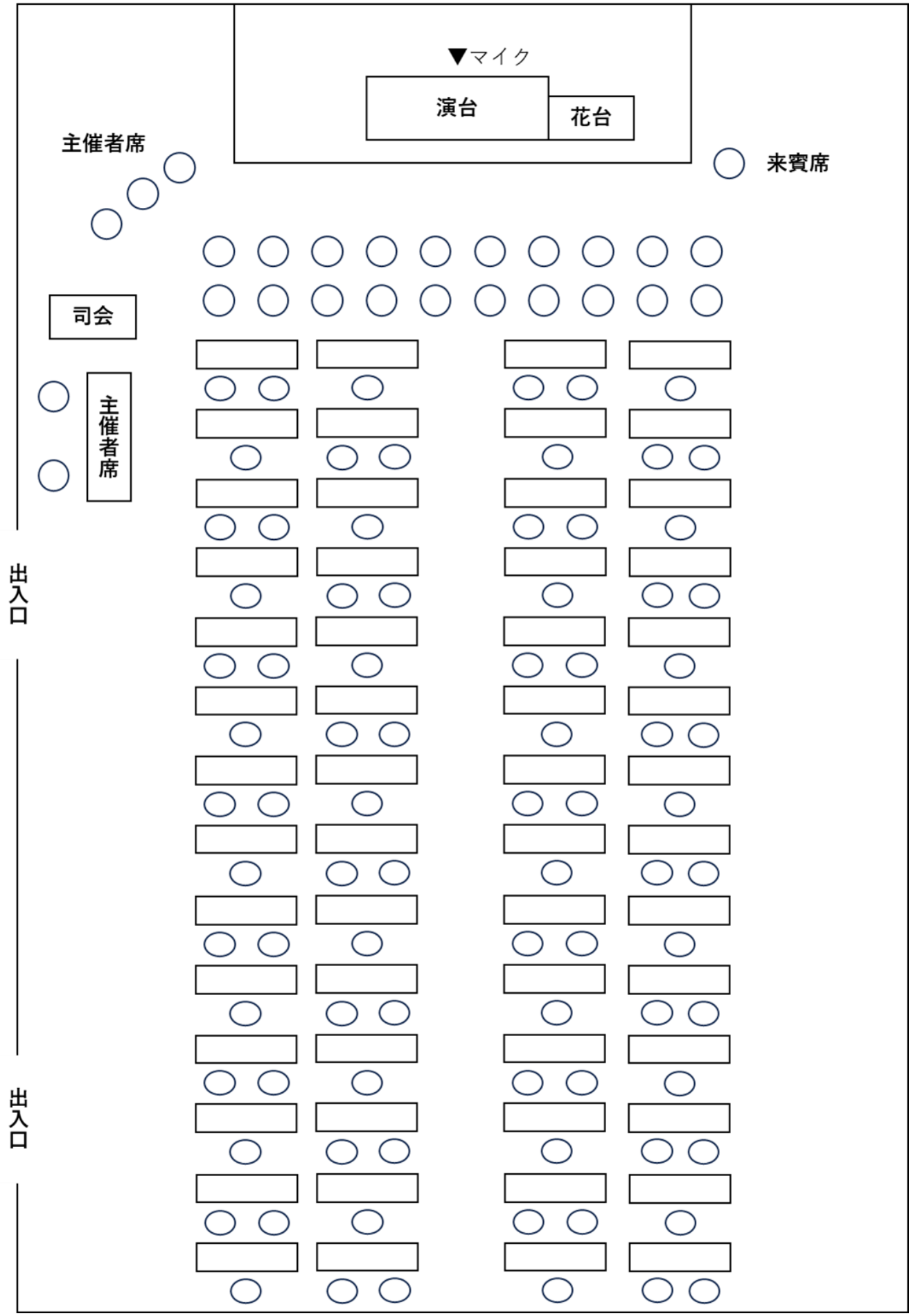
休憩（５分程度）

基調講演（１時間程度）

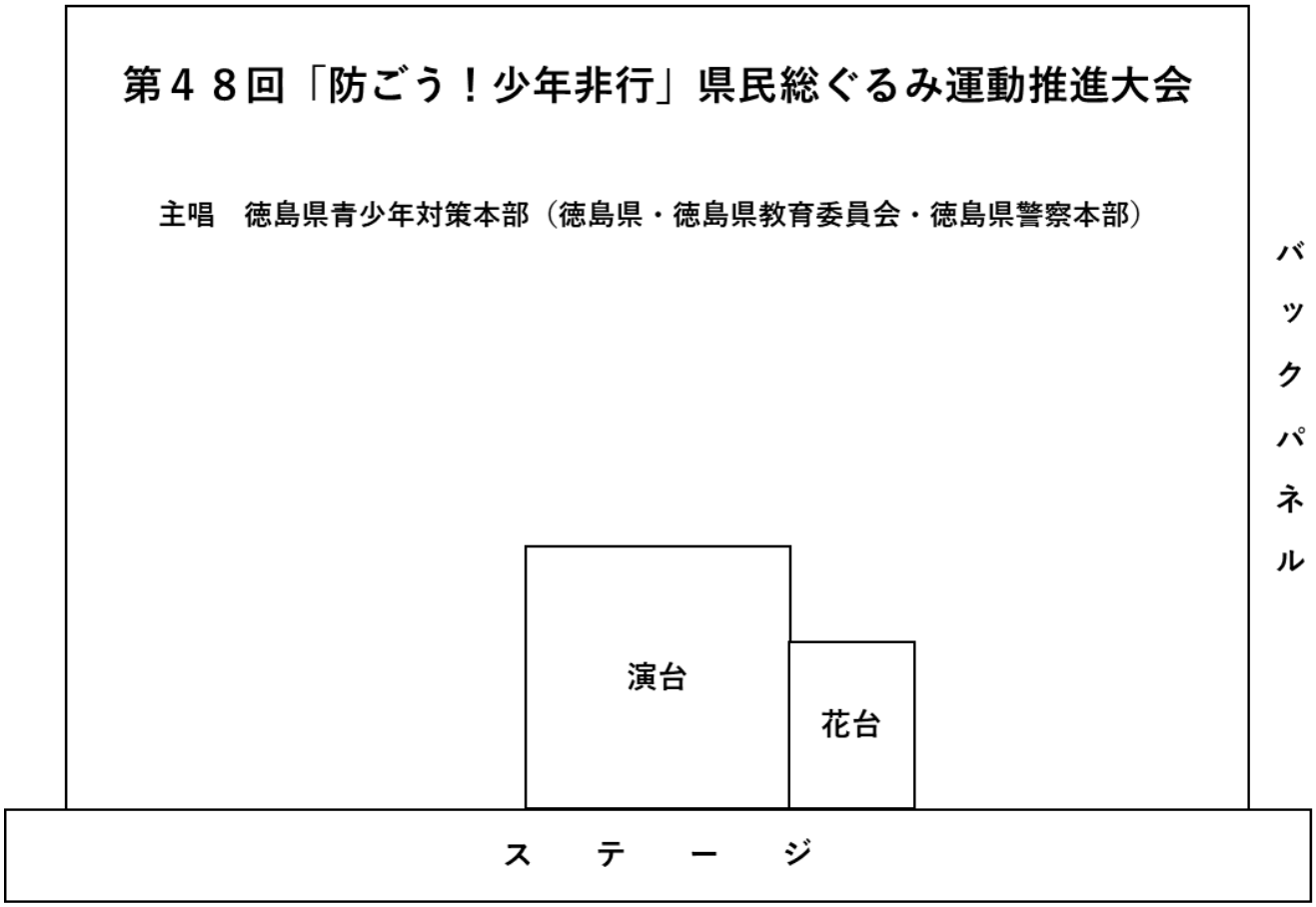
・講師　　未　　定
・演題　　未　　定

１５：３０～
１６：００　　閉会

会場案内図（案）



推進大会看板・ステージ配置図（イメージ）



会場は看板の吊り下げが難しいためバックパネル等により大会名を表示する
講演会でスクリーンを使用する場合は、バックパネルを移動できる仕様とすること
ステージ・バックパネルの大きさについては、会場下見の上、表彰に耐えうる大きさとすること

＜参考＞

これまでの講師実績

年度	講　　師	ジャンル	演　　題
R6	くすのき　しげのり	児童文学作家	一人ひとりが　みんなたいせつ
R5	秋山　千佳	フリージャーナリスト	子どものＳＯＳ聞こえていますか？
R4	山崎　聡一郎	教育研究者	大人から見えない世界で、子どもは何を考えて行動しているのか？～デジタルネイティブ世代を守り、育てる教育
R3	たかまつ　なな	芸人・お笑いジャーナリスト (株)笑下村塾代表取締役	子どもの命を守るために
R2	山中　千枝子	千斗枝グローバル教育研究所代表・こうちねっと見守り会議会長	子どもの置かれている状況とおとなの果たす役割
R1	高橋　暁子	ＩＴジャーナリスト	スマホやＳＮＳのリスクと安全利用
H30	らくさぶろう	タレント	自己肯定できる子に
H29	石田　志芳	心理カウンセラー・作家 シンガー	僕らが親に「別に･･･」しか言わないワケ
H28	宮田　祐子	キャリアコンサルタント	ニートからの警告 ～本当の解決策は大人自身の生き方にある～
H27	石川　結貴	作家・ジャーナリスト	ネット・スマホ世代の子どもたち
H26	つだ　つよし。	タレント・放送作家 心理カウンセラー	依存僻から脱出！子どもたちの☆自考力☆自行力☆自立力を育てるステキな応援方法
H25	笹岡　郁子	(有)ノモ・ソリューション 代表	いじめ、キレる子どもの心 ～親が見落とす 10 代のＳＯＳ～
H24	勝山　実	ひきこもり経験者	安心ひきこもりライフ
H23	坂本　博之	元プロボクサー	僕は運命を信じない
H22	きくち　寛	シンガーソングライター	子供らに勇気や希望を与える社会へ ～心のふるさとを歌う～
H21	藤川　洋子	大学教授	少年非行から見えるもの ～対人関係力に注目して～
H20	工藤　良	田川市健全育成推進員	元総長のふれ愛義塾 ～子どもたちの居場所づくりに関わって～
H19	今村　克彦	元教諭・教育アドバイザー	子どもは誰もが輝きたい ～現代の教育を斬る～